

県道 77 号 (平塚松田)

土屋東地区【寺分・下庶子分工区】道路整備事業

1 事業の目的と取組状況

本路線は、県道 62 号（平塚秦野）の土屋橋交差点から、金目川に架かる土屋橋を渡り、中井町を経て、松田町までに至る広域的な主要幹線道路です。

当事業箇所は、バス路線で大型車交通量が多いにも関わらず、幅員が狭く歩道も整備されていない危険な状況にあり、車両のすれ違いが困難となっている箇所もあるため、道路利用者や地元関係者等から早期の道路整備が強く求められていました。

こうした中、平成 27 年（2015 年）より、地元関係者等と協働で線形の検討や測量調査を進め、令和 2 年 2 月に「地元説明会」を開催し、同意を得られた寺分工区(L:約 560m)のうち、特に幅員が狭く、すれ違いが困難な区間をⅠ期区間(L:約 230m)と位置づけ、先行整備していくこととしました。

今後も、地元関係者の皆様のご理解ご協力をいただきながら、用地取得や工事を進め、早期の供用を目指してまいります。

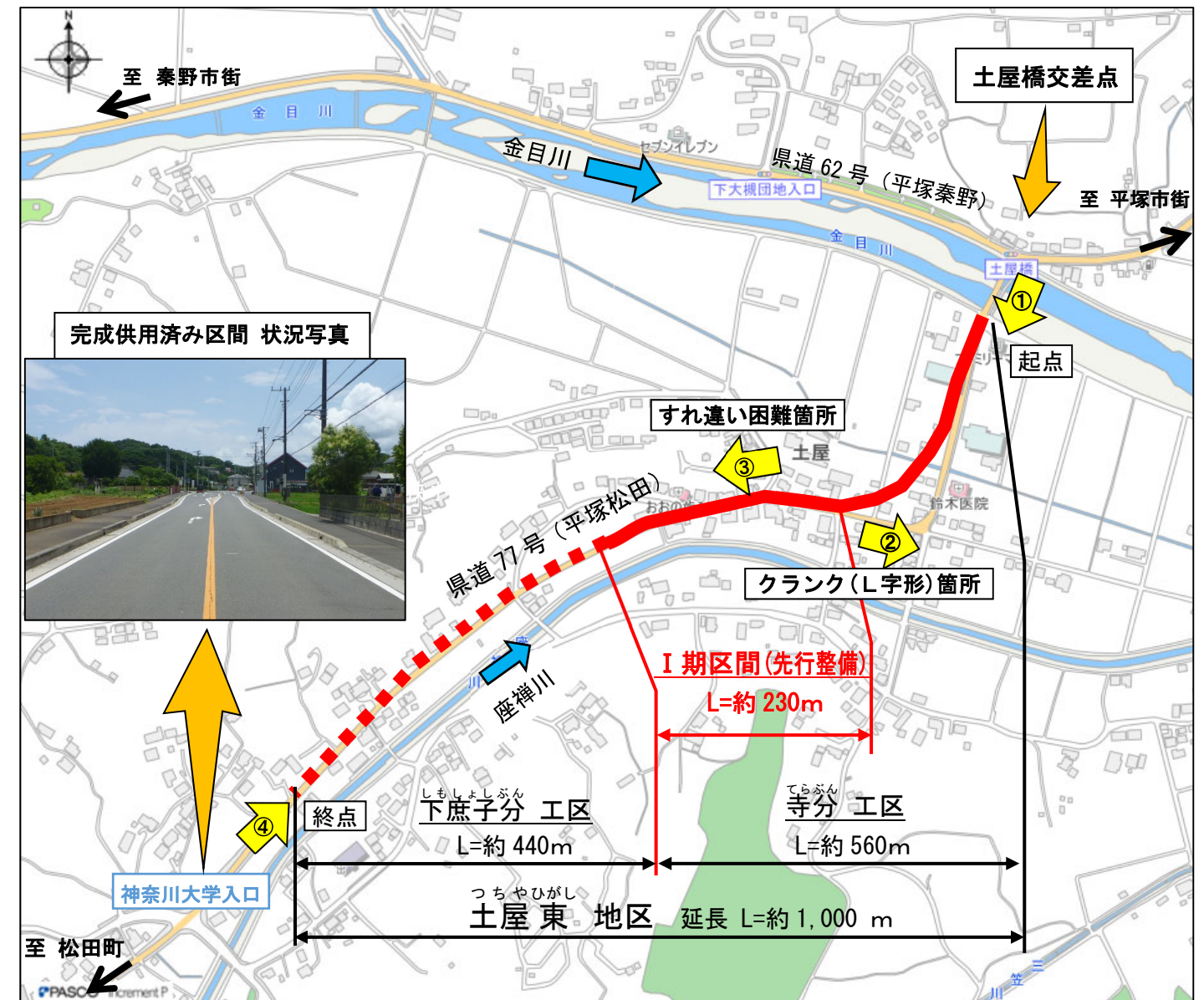
2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 土屋 地内（土屋橋の西側～神奈川大学入口交差点の東側付近）
- 事業延長：L＝約1,000 m【寺分工区L＝約560m（Ⅰ期区間L＝約230m）、下庶子分工区 L＝約440m】
- 計画幅員：W＝12.0m（標準部）～13.5m（市道交差点付近）
- 供用目標：用地取得の完了後、概ね3年以内の供用を目指します。

3 写真



4 位置図



5 横断図

